月　日　名前　　／50点

【中3】国語 文章テスト　説明文 1/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

知らない町へ行く前に、私たちはたいてい、写真や口コミで下調べをする。行ってみると、たしかに写真と同じ景色がある。それなのに、なぜか写真で見たときとは違う印象を受けることが多い。

写真に写っているのは、その場所の一部分である。撮った人が選んだ向きから、選んだ瞬間を切り取ったものだ。そこには、写真の外側にあるもの、たとえば、道のにおいや、遠くから聞こえる音や、歩いたときの坂の重さは入っていない。私たちが写真から受け取るのは、撮った人の目を通して選ばれた情報なのである。

これは、写真だけのことではない。本や記事、人から聞いた話も、誰かが見たり考えたりしたことを、言葉にして伝えたものだ。どれほど正確に書かれていても、そこには必ず、伝えた人の選び方が入っている。何を伝え、何を伝えなかったかという選択である。

もちろん、情報を通して世界を知ることは大切だ。自分の目で見られる範囲はかぎられている。遠い国のことも、昔のことも、私たちは他人の目を借りて知るしかない。問題は、借りた目で見たものを、自分の目で見たものと同じだと思いこんでしまうことである。

自分の目で見るとは、ただ現地に行くことではない。受け取った情報が、誰かの選択を通ったものだと意識しながら、自分でも選び直してみることだ。写真には写っていなかったものは何か。記事が書かなかったことは何か。そう問いながら見るとき、借りた目は、自分の目を育てる手がかりに変わる。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　筆者は、私たちが写真から受け取るのはどんな情報だと述べていますか。「～情報」につながるように、本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

問二（十点）　第二段落で、筆者が道のにおいや遠くの音、坂の重さを挙げたのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　写真の外側にあって、写真からは受け取れないものの例を示すため。
イ　写真を撮るときに気をつけるべきことを示すため。
ウ　知らない町を歩くときの危険を示すため。
エ　写真よりも、音やにおいのほうが大切だと主張するため。

問三（十点）　筆者は、本や記事、人から聞いた話にも必ず入っているものは何だと述べていますか。本文中から十字以内で抜き出しなさい。

問四（十点）　筆者が「問題」だと考えていることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　情報を通して世界を知ろうとすること。
イ　遠い国や昔のことを知ろうとしないこと。
ウ　借りた目で見たものを、自分の目で見たものと同じだと思いこむこと。
エ　写真や記事が、いつも正確でないこと。

問五（十点）　筆者の考える「自分の目で見る」とは、どういうことですか。六十字以内で説明しなさい。

月　日　名前

／50点

合計　／100点

【中3】国語 文章テスト　物語文 2/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

卒業アルバムの写真撮影の日、私はクラスの集合写真のいちばん端に立った。真ん中に立つのは、いつも同じ顔ぶれだった。明るくて、よく笑う、クラスの中心の人たちだ。

「端っこ、もうちょっと寄って。」

カメラマンに言われて、私は半歩だけ内側に動いた。隣にいたのは、あまり話したことのない中村さんだった。

中村さんも、私と同じように、いつも静かに本を読んでいる人だった。

撮影が終わってから、私は中村さんに話しかけてみた。三年間、同じクラスだったのに、話したのはそれがほとんどはじめてだった。

「いつも、何の本を読んでるの。」

中村さんは少し驚いた顔をして、かばんから一冊の本を出した。私の好きな作家の本だった。私たちは、その作家のどの作品が好きかで、休み時間が終わるまで話しこんだ。中村さんは、話すとよく笑う人だった。

その日から卒業までの一か月、私たちは毎日のように本の話をした。本を貸し合い、感想をノートに書いて交換した。

卒業式の前の日、できあがったアルバムが配られた。集合写真の端に、少しかたい顔で並ぶ私と中村さんが写っていた。まだ話したことのなかった、あの日の二人だ。

「もっと早く話しかければよかったね。」中村さんが言った。

私はうなずきかけて、それから首を振った。

「でも、この写真を撮った日に話しかけたから、今があるんだよ。」

写真の中の二人は、まだおたがいのことを何も知らない顔をしている。私は、その端っこの写真が、アルバムの中でいちばん好きになった。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　撮影の日、私は集合写真のどこに立ちましたか。本文中から五字以内で抜き出しなさい。

問二（十点）　「中村さんは、話すとよく笑う人だった」とありますが、この一文から分かることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　中村さんは、静かに見えて、実は明るく親しみやすい人だったということ。

イ　中村さんは、私のことをばかにしていたということ。

ウ　中村さんは、クラスの中心の人たちと仲がよかったということ。

エ　中村さんは、本を読むのが好きではなかったということ。

問三（十点）　私と中村さんが、卒業までの一か月にしたことを、本文中から二十五字以内で抜き出しなさい。

問四（十点）　「もっと早く話しかければよかったね」という中村さんの言葉に対して、私が首を振ったのはなぜですか。六十字以内で説明しなさい。

問五（十点）　私がその端っこの写真を「いちばん好きになった」理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　自分がいちばんきれいに写っている写真だから。

イ　中村さんと友だちになるきっかけの日の写真で、二人の関係の始まりが写っているから。

ウ　クラスの中心の人たちが、よく写っている写真だから。

エ　中村さんとの思い出を、早く忘れたいから。